



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信
 2011年7月1日号 No.198

'みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317 (直通)
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》



子どもたちへの安心を築くために

り、専門家(東大、お茶の水大、アイソトープ協会)と区の職員がペアで3組に分かれて、区立幼稚園、保育

区議会文教、建設委員会で放射線測定実施の具体化が報告
すべての区立保育園、幼稚園、小・中学校の各一か所で放射線測定を実施
 やっと区民の声が届きました 28日開かれた区議会建設委員会、資源環境部環境政策課から放射線測定についての報告がありました。
 区独自の測定は24日の文教委員会で口頭報告があり、放射線量の測定が公表されましたが、この日は、具体的にどうやって測定するかについての報告でした。その後の聞き取りも含めてわかったことをまとめると次のようになります。
 測定開始は7月1日から、1か所について高さ1m、50cm、5cmで測定。
 都から貸与される測定器の他、3台の測定器をアイソトープ協会(本駒込)から借り、専門家(東大、お茶の水大、アイソトープ協会)と区の職員がペアで3組に分かれて、区立幼稚園、保育

園、小学校、中学校の57か所を測定。区立小・中学校から1校を選定し、降雨前と降雨後で水質検査を行う。実施時期は未定。
 測定結果は専門家との協議を経て区のホームページで公表。
 日本共産党区議団は、結果の公表は早く行うこと、また、児童公園の砂場や芝生、私立の保育園、幼稚園、小中学校などでも測定を行うように求めました。

放射能汚染を考える
 ・7月21日(木)
 午後6時半から
 ・男女平等センターで
 ・講師：野口邦和先生
 (放射線防護学)

区民センターは耐震工事にこの機に真砂市場の拡充を

やっと耐震の診断結果ができました。東京都が行っていた都営住宅などの調査で、区民センター(5階から上は都営住宅)の診断結果は「B3」=十分な耐震性が確保されていない=でした。その結果、耐震工事となるわけですが、区は合わせてそのときに、真砂市場の「あり方」を検討するとしています。

総務区民委員会では、「時代にあわれない」などの意見がすぐに飛び出します。真砂市場は私もちよくちよく利用しているし、近隣住民や勤め人の方々にとっても大事な商店街です。まずは活気を取り戻すために、商店街や出店希望者への支援こそ求められます。



区民の声と運動の成果

まんだち日誌

- 24日 今日から区議会常任委員会。本日は文教委員会でした。冒頭、学務課から放射線量の測定を区内57か所で行う報告が追加でありました。7月1日から実施です。
- 25日 午前、「赤旗」日曜版配達。夕方、党の会議。若者層への接近を考えるなら「ツイッター」をやるべき」という強い意見を頂きました。すぐ検討します。
- 27・28日 厚生委員会、建設委員会とつぎました。建設委員会は「区独自の放射能調査を求める請願」の紹介議員として傍聴。
- 29日 総務区民委員会。委員として出席。区政全般の議論なので難しさがありません。議案は9件採択されました。